

今月の
Pick Up!

東北初 溶接専門級A-2Hに女子高生が合格！

白石工業高3年荒井美紅さん
将来は大きなプラントなどの建設に携わりたい



1・2_平成25年7月にチャレンジャーした「溶接専門級A-2H」試験に東北の女子高生で初めて合格した荒井さん。火花の散る高温の中、鋼板と鋼板のすき間に棒状の金属を溶かしながら均等に流し込み溶接！
3_合格証明書を手に笑顔を見せる荒井さん

「溶接はやっていて楽しくて飽きない。溶接した跡が頑丈で、さらにきれいに仕上がった時は大きな喜びがあります。これからは、もっと難しい資格を取得し、電波塔（携帯電話の基地局）やプラントなどのような大きな製品を溶接してみたい」

溶接を通じた夢

荒井さんは、同校のオープンキャンパスで見た旋盤加工と溶接作業に魅力を感じ、自分もこのような技術を身につけたいという思いから機械科への入学を決意しました。高校1年生の12月には溶接の基本級を取得し、平成25年1月に開催された県内の高校生溶接競技大会（下向き姿勢）では並み居る男子高校生たちを抑え、2位入賞。一生懸命に取り組めば結果がついてくることを知り、喜びと同時に上級資格へ取得の意欲と自信をつけました。同月には溶接専門級にチャレンジしましたが失敗。その後、地元企業と工業系高校が連携し、ものづくりの担い手を育成する「みやぎクラフトマン21事業」の一環で、現役の溶接技能者から指導を受けながら、平日だけでなく、土曜日も練習を重ね、7月上旬に再チャレンジした試験で見事合格しました。

溶接専門級取得まで

9月1日、白石工業高校の荒井美紅さん（機械科・3年）が、「溶接専門級A-2H」試験に東北の女子高生で初めて合格しました。

「溶接はやっていて楽しくて飽きない。溶接した跡が頑丈で、さらにきれいに仕上がった時は大きな喜びがあります。これからは、もっと難しい資格を取得し、電波塔（携帯電話の基地局）やプラントなどのような大きな製品を溶接してみたい」

夢に向かって走る

荒井さんは、現在、機械保全3級をはじめとした11種類の資格を有し、高い技術が評価され、来春からは道路や鉄道などのインフラ整備を行っている大手製造会社への就職が内定。自身の夢に向かって走り出しています。

溶接の資格

溶接の資格には、基本級（下向き姿勢の溶接）と専門級（立向き、横向き、上向き姿勢の溶接）があり、さらに、溶接する材料の種類や厚さ、溶接方法の種類によって100種類以上にも分類されます。専門級の受検は、3カ月以上溶接技術を習得した15歳以上の人で、学科と実技からなる基本級を取得していることが条件。今回荒井さんが合格した「溶接専門級A-2H」は横向きで作業するのが条件の「被覆アーク溶接」部門で、多くの場合、この資格を取得後、難易度の高い上向き姿勢などの資格の習得を目指します。

～未来を担う子どもたちのために～

除染対象区域内の事前現地調査を行っています

市では、大鷹沢・小原・大平地区の除染対象区域で、対象になる宅地と隣接森林の正確な汚染状況などを事前に把握するため、調査員が訪問し、空間放射線量の測定と土地・建物の調査を行っています。この現地調査の結果を踏まえ、宅地と隣接森林ごとに除染の必要性を判定し、除染が必要な場合は除染方法を決定しますので、対象となる皆様のご協力をお願いします。調査員が敷地内に入る際は、お声掛けの上、立ち入り調査を行いますが、立ち会いをお願いするものではありません。

●調査の対象となる区域

地区名	調査対象区域
大鷹沢	4区から8区の全戸、9区・10区の一部
小原	上戸沢、東、塩倉、中北、猿鼻、新町、赤坂の全戸 下戸沢、赤井畑、大熊、湯元、明戸それぞれの一部
大平	4区、5区、6区それぞれの一部

※対象となる方には個別にお知らせを送付します。

●事前現地調査の内容

①空間放射線量の測定

所定の機器で空間放射線量を測定し、通学路や個々の敷地などの正確な汚染状況を把握します。

②建物調査（外観）

個々の敷地などの除染方法を決定するため、土地・建物の調査と建物の写真撮影を行います。

※1戸当たりの調査時間は、40分程度です。

※空間放射線量の測定と建物調査は別々の調査員が行います。日程が前後して訪問する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●調査期間

12月中旬までに調査を終了する予定です。

●調査委託業者

- ・業者名 アジア航測株式会社
- ・調査員 身分証明書を携帯します。
- ・関係車両 本調査を実施していることを掲示します。

☎放射能対策室 ☎25-3720

Topics

大地の恵み いただきま〜す！

第35回白石市農業祭



1_関係者のテープカットで開幕！ 2_白石産新米すくいどりは大人気！ 3_大勢の人でにぎわう農業祭会場 4_登別市・海老名市の物産をPRする片倉組。海老名のイチローも参戦 5_澄んだ歌声を披露する白石第二小「つばさ合唱団」 6_うーめん体操を披露する西保育園児たち

11月9日・10日の両日、白石の収穫の秋「第35回白石市農業祭」をホワイトキューブで開催し、約23,900人が会場に訪れました。恒例の農産物コンテストが行われたほか、新米や新鮮な旬の野菜、果物をお手ごろ価格で販売する農産物マーケット、登別市・海老名市・白石市の物産展、片倉塾による甲冑試着コーナー、白石産新米すくいどり、すまいる大使の白石戦國武将隊「奥州片倉組」のステージなど多彩なイベントが行われ、訪れた人たちは白石の風土が生み出した秋の恵みを味わい、会場の熱気を楽しんでいます。

また今回の農業祭には、「登別市・白石市姉妹都市締結30周年」を記念して登別市民団が本市を訪問。本市の秋の収穫祭を楽しまれました。

さらに、旧地方卸売市場では、JAみやぎ仙南による農機具展を同時開催。市のPRキャラクター「ポチ武者こじゅーろう」によるもちまき、地場産りんごやたまごがプレゼントされるサイコロでゲットが行われたほか、小十郎の郷によるつきたてもちや新米おにぎりが無料で提供され、多くの人たちの笑顔であふれていました。